

改訂第2版の序

本書の初版が2010年に刊行されてからほぼ5年が経過し、この度、改訂版を発行することになりました。しかし、基本的なコンセプトや編集方針は変わりません。本書は管理栄養士にとって大切な「人間栄養を理解するための解剖生理学」という考えに基づいて、人体の全体像を栄養と関連づけて理解するのに役立つよう、人体のしくみを、その構成単位である細胞レベルから組織・器官・器官系レベルまで、構造と機能との密接な関連のもとに、体系的に理解することをめざしています。栄養とかかわり深い主要疾患を中心に解説した「臨床への入門」の欄も設けられています。

一方、2010年末には「管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）」が改定され、以後これに則って国家試験が行われてきましたが、初版ではこの改定とその後の状況を十分に反映できていない部分がありました。さらに、近年、山中伸弥教授のノーベル賞受賞対象研究のように、医学・健康科学分野では日進月歩の進展が続き、諸疾患の診療ガイドラインの改定も行われてきました。

そこで、今回の改訂にあたっては、まず、ガイドラインに沿って内容を見直すとともに、ブラッシュアップを図りました。また、用語の表記は管理栄養士国家試験に合わせたものに統一しました。一例をあげれば、proteinの日本語表記としては“タンパク質”や“蛋白質”が広く一般に用いられていますが、改訂版では“たんぱく質”としました。実際の管理栄養士国家試験では、医学・健康科学分野の研究の進歩や疾患診療の新しいガイドラインを取り入れた出題も見受けられるので、これらについてもできるだけ取り入れて、「臨床への入門」を充実するようにしました。そして何よりも、この改訂版と初版の両方を手にされた方は、改訂版では全体がカラー化されて、とてもわかりやすくなっていることにすぐ気づかれると思います。

初版と同様に、この改訂版も「テキスト」と「演習版」の2冊セットによる効果的な学習をねらっており、本書はそのテキスト版です。他の『栄養科学イラストレイティッド』シリーズ同様、基本・重要事項が、豊富な図表とともにできる限り簡潔に、またやさしく解説されています。姉妹版の「解剖生理学ノート 改訂第2版」と合わせての活用をおすすめします。

なお、本書の内容・記述については、誤り等がないよう努めて参りましたが、本書をよりよいものとできるよう、もしお気づきの点等があればぜひご指摘・ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

最後に、本改訂版の発行にあたり大変お世話になった羊土社編集部の関家麻奈未様、伊藤慶子様はじめご関係の皆様に心から感謝いたします。

2014年10月

志村二三夫
岡 純
山田 和彦